

安心して移動できる優しい町

安心して移動できる優しい町とは

- ・夜道を明るく照らす街灯が多くある
- ・交差点などにカーブミラーがたくさんある
- ・見やすい路面標示がある
- ・広い歩道
- ・歩道とは別に自転車ゾーンがある
- ・ガードパイプで歩道が守られている
- ・地方との行き来が楽

取り組み

- ロードヒーティングの設置
- 高規格道路
- 道路の整備
- スロープ、手すりの設置
- ガードパイプの設置

地域高規格道路



- ・ **地域の自立発展** や
地域間の連携を支える
- ・ 高速サービスを提供できる道路
- ・ 連携機能
交流機能
連結機能 の三種類がある

ロードヒーティング



- ・路面を加熱することで
防雪、凍結防止
- ・車両用だけではなく
バリアフリー対策を兼ねて、
市街地の歩道にも設置
- ・自然エネルギーを利用している
場所もある

丸玉

→ バイオマスグリーンサイクル

- ・化石燃料を使用しない
- ・工場などに熱・電エネルギーのほぼ100%を供給
- ・年間に化石燃料を24,000kL
CO2を69,000t削減
- ・新エネ大賞で国の新エネ百選に選定



まとめ

安心して移動できる優しい町

- ・ロードヒーティングの設置
- ・丸玉産業のエネルギーを使用
- ・高規格道路の設置

- ・スリップ事故減少
- ・co2削減 → 環境にもやさしい
- ・他の地域との行き来が楽
- ・観光客の増加
- ・町のアピール

生徒に優しい 津別高校のある町

理想の未来

生徒一人ひとりが
好きな道・進路を極めることができる
津別高校のある町

具体的な取り組み案

- ・ 専門学校や大学のような
専門的なことが学べる
- ・ 実際に体験ができる

実現に向けてやるべきこと

- ・映像授業
- ・津別町の方々と協力
- ・インターシップを取入る
- ・資格が取れる

外国人と交流できる国際的な町

取り組み案

- 拠点の整備
- 空き家の活用
- ゲストハウスの整備
- 役場に外国人職員の採用
- 交通手段の確保

観光の名所にする



お店の中も雰囲気

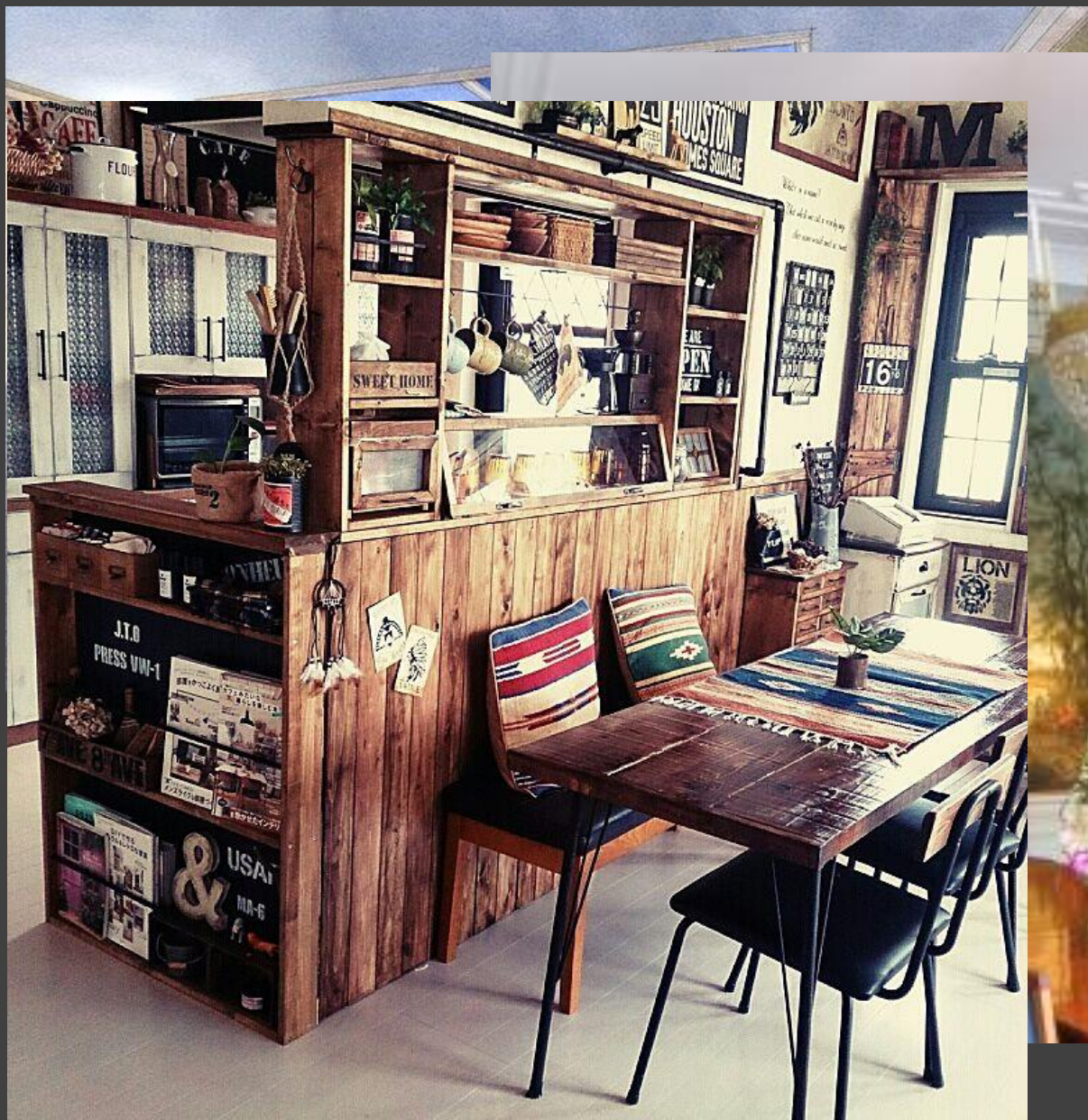




nanmo-nanmo

でてこいランド





- 外国人職員
- 交通手段確保



か
るか



それぞれの国を理解し高めあう

理想の未来に向けて「やるべきこと」

- 英語力強化
- 外国人対応の標識設置
- 日本について学ぶ機会をつくる
- ガイドする人
- 外国人労働者
- 学生とのかかわり

「やってはいけないこと」

▶差別

▶見世物扱い

▶価値観の押し付け